

特集

# 街なかの

## 目次

4 巻頭エッセイ「ひとしづく」

あの香りのコーヒー

なごら健吉

喫茶店はいつできた?

6

「総論(概史)」

社会と経済情勢が生んだ日本の喫茶店

戦前から今に至る3つのブーム 且部幸博

10

「喫茶空間の哲学」

珈琲店で大事にしていたこと

ほんとうの自分でいられる場を 大坊勝次

12

「承継」

老舗喫茶店を承継したのは「お隣さん」姉妹

「マスター」の味を常連と模索 珈琲専門店蘭(名古屋)



一息つきたいとき、何か飲みものがあるといいですよ。もちろん水でもよいですが、香りが楽しめるコーヒーやお茶、紅茶ならば、気分をうまく切り替えられる感じがします。

日本ではほとんど栽培されていないのに、たくさんの方が気軽に飲んでいるのがコーヒーです。自宅や職場などさまざまな場所でコーヒーを飲むと思いますが、街なかで見かける、昔ながらの喫茶店が気になったことはないでしょうか? 一言ありそうなマスターが一杯ずつコーヒーを淹れてくれるようなお店です。

今回は、その個人経営の喫茶店に目を向けました。喫茶店に強い思いを抱く人びと、実際に店を営む人びとに話をお聞きして、私たちにどうして喫茶店という空間がどのような存在なのか考えてみます。

表紙: 湯気が立ちのぼるコーヒー  
撮影協力: コーヒーショップ伊吹 [大阪市西成区] / 撮影: 鈴木拓也

# 喫茶店

「伝説のマスター」は何を  
考えていた?

常連が店を  
引き継いだ!?

三代目が  
バがけている  
ことは?

14

「継承」

コーヒーは主役にあらず

「時間を彩る」価値を信じて

六曜社珈琲店(京都)

大阪の  
喫茶店は  
サラリーマンが  
多いの?

16

「常連との関係性」

喫茶店王国「大阪」を覗く

老舗に見る「居心地」と「安らぎ」



昭和レトロな  
喫茶店の  
魅力とは?

20

「古きよき喫茶店」

知恵と熱意が作り上げた空間

「純喫茶」が好まれる理由 難波里奈



喫茶展  
を開いたのは  
なぜ?

22

「地方都市と喫茶店」

「日本の道」を歩いて見つけた個人経営の喫茶店

地方で体験する一期一会 クレイグモト

24

「変貌する街と喫茶店」

地域をつないできた街の喫茶店

「まちのオアシス」文京喫茶」展を開いて 文京建築会ユース

カフェを  
開いてわかった  
ことは?

28

「喫茶店の求心力」

喫茶店がこの街にある意味

「脳裏に浮かんだ廃業を乗り越えて」  
「三味珈琲(能登半島)」

32

「文化をつくる」

喫茶店は「水場」のひとつだ

編集部



島原市に  
研究成果を  
発表

日本の  
喫茶店って  
どう見える?

能登半島で  
用いる魚醤

連載

34

食の風土記 24

イカの内臓を発酵させてつくる天然の調味料「いしり」

36

みず・ひと・まちの未来モデル 11

水場の「価値」存続と地域住民のウェルビーイング

野田岳仁

44

Go! Go! 109水系 27

碑文が語る、筑後平野の幸が生まれた所以 筑後川

坂本貴啓

50

センター活動報告

編集後記/ご案内

(敬称略)

